

日曜歴史館

—茨城の歴史をテーマにした日曜開催の講座です—

第4回

10月5日

<企画展関連>

近世の育子策と間引き教諭

当館 学芸課 首席研究員 廣瀬 昌子

江戸時代の後半、日本は全国的に人口停滞期を迎えます。北関東や東北の人口減少は著しく、水戸藩では18世紀初めには約30万人だった人口が18世紀末には約22万人まで減少しました。こうした状況を受け、6代藩主・徳川治保は、寛政3年(1791)より間引き(嬰兒殺し)の禁止に本格的に取り組みはじめます。また同時期に、藩の施策に呼応し、町役人、医師などが、間引きをいましめる教諭書(間引き教諭書)を盛んに執筆、版行しました。

本講座では、水戸藩を中心とする茨城県下の諸藩でとられた間引き禁止の施策や教諭書の分析を通して、指導者たちがどのような論理とアプローチで百姓らに間引きを思いとどまらせようとしたのか、そしてそこに見え隠れする百姓らの子育てのあり方を探っていきます。



御筆之寫〔徳川治保 育子の教諭〕
寛政3年(1791) 当館

会 場

茨城県立歴史館・講堂

(水戸市緑町2-1-15 TEL 029-225-4425)

時 間

14:00~15:30

料 金

無料。展示室に入場する場合には所定の料金。

(障害者手帳等をお持ちの方と付添者1名は展示室への入場も無料)

申 込

ホームページの申込フォーム、来館、往復ハガキによる事前申込。

第4~8回は、9月2日(火)より申込受付開始。

定 員

先着150名

対 象

高校生以上

今後の講座

第5回 12月14日(日)	一橋徳川家2世当主・徳川治済とその時代 担当 武子 裕美
第6回 1月11日(日)	^{げんじ} 元治元年の徳川慶喜 担当 由波 俊幸
第7回 2月 8日(日)	^{こいしかわ} 『礪川役用日記』にみる水戸藩附家老中山家 担当 沼澤 佳子
第8回 3月 1日(日)	『源氏物語』と常陸 担当 飛田 英世

<お問い合わせ先>

茨城県立歴史館

〒310-0034 水戸市緑町 2-1-15

TEL 029-225-4425 FAX 029-228-4277

E-mail daihyou@rekishikan.museum.ibk.ed.jp



申込はこちら

【開館時間】9:30～17:00（入館は16:30まで）

【休館日】月曜日（祝日の場合はその翌日）

年末年始休館：12月29日(月)～1月1日(木)